

天然ガス由来の環境配慮型燃料でCO₂削減を目指します！

“クローラクレーンでは国内初”

-戸田建設(株)様渋谷駅桜丘口再開発作業所の350 t クローラクレーンにクリーンエネルギーの使用を開始-

(株)泰成重機は、2020年11月より戸田建設(株)様(本社：東京都中央区) 渋谷駅桜丘口再開発作業所で環境負荷の少ないクリーンな天然ガス由来の軽油代替燃料であるGTL燃料の使用を開始しました。

GTL燃料は天然ガス由来の軽油代替燃料で、国内では伊藤忠エネクス(株)様(本社：東京都千代田区)が輸入販売しており、国土交通省「新技術情報提供システム『NETIS』」に登録されています。この燃料は、軽油と比較してCO₂排出量が燃焼時、約8.5%削減することができる他、煤が少ない等、様々な利点を有する次世代の環境配慮型燃料であり、オフロード車両のみ使用することができます。

今回の使用は建設作業所におけるクローラクレーン揚重作業での国内初の事例となり、今後、他の作業所においても展開を図っていきます。現在、国内でのGTL燃料の使用は、中部・関西・関東エリアに限られていますが、当社では、さらに採用実績を積み重ねることで、採用エリアを拡大し、建設作業所から排出されるCO₂排出量の削減を目指します。

【GTL燃料の特性】

- ① 軽油と比較してCO₂排出量が燃焼時、8.5%削減可能 (GTL CO₂排出原単位 2.36kg-CO₂/L)
- ② ドロップイン燃料 (既存のディーゼルエンジンに使用可能)
- ③ 引火点70°C以上のため、第3石油類 (指定数量2klまで可能)
- ④ 軽油よりセタン価が高い (JIS軽油45以上に対し、GTL60以上)
- ⑤ 優れた低温性能 (寒冷地用3号軽油水準、流動点▲20°C以下)
- ⑥ 貯蔵安定性 (4~6年の長期貯蔵が可能)
- ⑦ 煤が少ない
- ⑧ 無毒性 (生分解性)
- ⑨ 硫黄分・芳香族分を事実上ほとんど含んでいない



GTL使用重機を示すステッカー